

# 神戸っ子すこやかプラン 2024（案）

## （抜粋）

令和元年度第2回子ども・子育て会議における  
「第5章 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携」について

### 委員からの主なご意見

- 幼児期の教育・保育は、園・施設のみが行うものではないので、家庭に関する記載も入れてほしい。
- 「教育」という言葉の理解が少し薄いのではないかと感じる。もう少し幼児期の教育というのは何たるものかということが具体的に分かるような文章を入れてほしい。
- 幼児期の教育の中身について、もう少し保護者に理解をしてもらう必要がある。



2024年度（令和6年度）までの具体的な目標（方向性）

### 第5章 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携（案）

目標・内容	
幼児教育の理解の推進	<p>・ <u>幼児期における教育は、幼児の自発的な活動である遊びを通じて生涯にわたる豊かな人間性や生きる力の基礎を培うことを目指しており、その重要性を教育・保育従事者・家庭に啓発するとともに、理解が深まる取り組みを推進します。</u></p>
幼児期の教育・保育の質の向上	<p>・ 豊かな人間性や生きる力の基礎を培い、発達や学びの連続性を踏まえた幼児期の教育・保育を推進するため、<u>公私幼保合同研修や実践研究・研修を充実し、保育者としての専門性の向上や相互連携を深めるなど、教育・保育の質の充実に努めます。</u></p> <p>主な取り組み 公私幼保合同研修/大学と連携した乳幼児教育の実践研究・研修など</p>
小学校教育との円滑な接続連携	<p>・ 小学校入学後の集団生活に円滑に適應できるよう、アプローチカリキュラムの充実、インクルーシブ教育の推進、道徳・規範意識の醸成を図るなど、幼・保・小の連携を進め円滑な接続を推進します。</p> <p>主な取り組み 神戸つばめプロジェクト（幼保小連携推進事業）など</p>